

50万本のコスモスが満開



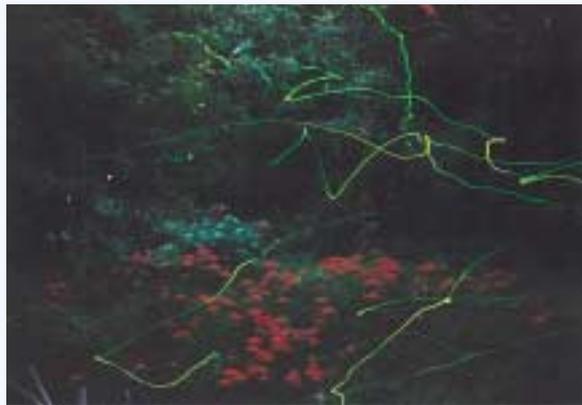
上県町目保呂ダム河川敷にコスモスの花50万本が満開に咲き、訪れる人の目を楽しませてくれました。対馬農業改良普及センターの小山貞和さんがダム内3ヶ所の河川敷に、総面積1.5ヘクタールを利用し、対馬森林環境整備緑化隊など協力を得ながら、今年初めて行ったもので、見事にピンクや赤、白のかれんな花が、秋風を受けてゆれていました。

小山さんは、猛暑の7月、荒地だった河川敷の草刈から始め、時には、重機で木の根や石を取り除くなど、種まきの時期に合わせ整地を行いました。このコスモスは、仁田小学校児童や各種団体、個人などが集まり、8月21日に120万粒の種をまき育てたものです。

土日には、子供連れの家族や老夫婦などが訪れ、コスモスを見ながら昼食を食べたり、記念写真を撮るなど喜ばれています。

12月に菜の花を植える予定で、「ここが一つの名所になれば」と話してくれました。

怪しい光は何



写真提供 対馬ホタルの会

光の正体は、秋に現れる珍しい「アキマドホタル」です。日本では対馬だけにしか見られない大陸系のホタルで、体長約20ミリと、普通のホタルより一回り大きく、普通地は、厳原の阿須川流域が特に有名で、県の天然記念物に指定されています。



隠れた対馬の名所を巡る

対馬 HOT SPOT



万松院 (3つの階段)

厳原には、宗家20代藩主 義成が父義智の死を悼み1615年に創設された、日本三大墓地の1つといわれている「万松院」があります。

この万松院には、3つの階段があることをご存じでしょうか。

百雁木という132段の石段を上ったところに義智以降歴代藩主の墓に上る2種類の階段が見えます。1つは、瓦葺の塀が付いた豪華な石段。もう1つは石橋を渡ったところにある石段です。しかし、実はもう1つ石段があります。豪華な石段は当然、お殿様を通ったもの、もう1つは家老達を通った階段、そしてあまり知られていない階段は一般の人が通ったものだとか。万松院に行かれた際は探してみてください。

対馬市役所観光物産推進本部

0920(53)6111

メールアドレス

asightseeing@city tsushima.jp